

## 会議の開催結果について

- 1 会議名 令和2年度第3回上尾市総合教育会議
- 2 会議日時 令和2年1月21日(木)  
午前・午後10時45分から12時05分まで
- 3 開催場所 本庁舎3階 庁議室
- 4 会議の議題 (1) 第3期上尾市教育振興基本計画について  
(2) 幼児教育について
- 5 公開・非公開の別 原則公開
- 6 非公開の理由 ー
- 7 傍聴者数 2名
- 8 問い合わせ先 秘書政策課  
(担当課)

# 会 議 録

会議の名称	令和2年度第3回上尾市総合教育会議	
開催日時	令和3年1月21日（木） 午前10時45分～12時05分	
開催場所	本庁舎3階 庁議室	
議長(委員長・会長)氏名	畠山 稔（市長）	
出席者(委員)氏名	池野和己 教育委員会教育長、細野宏道 教育委員会教育長職務代理者、中野住衣 教育委員会委員、大塚崇行 教育委員会委員、内田みどり 教育委員会委員、小池智司 教育委員会委員 石川稔 副市長	
欠席者(委員)氏名		
事務局(庶務担当)	秘書政策課	
会 議 事 項	1 議 題	2 会議結果
	(1) 第3期上尾市教育振興基本計画について (2) 幼児教育について	(1) 説明のとおり了解 (2) 説明のとおり了解
議事の経過	別紙のとおり	傍聴者数 2名
会議資料	別添のとおり	
<p>議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。</p> <p style="text-align: center;">令和 年 月 日</p> <p style="text-align: right;">議長(委員長・会長)の署名 _____</p> <p style="text-align: right;">議長に代わる者の署名 _____ (議長が欠けたときのみ)</p>		

## 議事の経過

発言者	議題・発言内容・決定事項
<p>司会 (市長政策室長)</p>	<p>皆様、こんにちは。            本日は、お忙しい中ご出席を賜り、誠にありがとうございます。            只今から、令和2年度 第3回上尾市総合教育会議を開会させていただきます。私は本日の進行を務めさせていただきます、市長政策室長の石川と申します。どうぞよろしくお願いいたします。            また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、アクリル板を設置しての開催とさせていただきます。            それでは初めに、本会議の設置者であります畠山市長から挨拶を申し上げます。</p>
<p>市長</p>	<p>教育委員の皆様には、日々上尾の教育の発展のためにご尽力を頂き心から感謝申し上げます。            さて、先日、大変喜ばしい話題として、「上尾の摘田・畑作用具」が国の重要有形民俗文化財に指定されました。本市での重要文化財の指定は初めてであり、上尾の歴史や文化などの価値を改めて認識したところではあります。指定にあたり、皆様のご尽力に感謝申し上げますとともに、これからも文化財の適切な保存や継承を支援していく必要があるものと考えております。            本日は、今年度策定する第3期上尾市教育振興基本計画についてと、幼児教育について議論します。            教育振興基本計画は、学力の向上、不登校対策、いじめや暴力行為防止の対策、生涯学習、文化芸術、スポーツなど、上尾市における教育の進むべき方向を示す大切な計画であります。            教育の分野は、幅が広く、根の深い課題が数多くあります。それも簡単には解決できないものばかりであることから、まずは、その根をほぐしていきたいと考えております。また、「幼児教育のあり方」についての議論を深める必要がありますことから、ぜひ、教育委員の皆様方の経験等もお聞かせいただき、活発な議論ができれば幸いです。            今後も、皆さま方との連携を一層強化していきたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたしまして、挨拶とさせていただきます。</p>
<p>司会 (市長政策室長)</p>	<p>ありがとうございました。            それでは、早速ですが、要綱の定めにより議事を進行させていただきます。皆様のご協力をお願い申し上げます。            初めに、本会議の公開についてでございますが、本会議は「原則公開」となっております。            本日、傍聴を希望される方はいらっしゃいますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>傍聴者が2名いらっしゃいます。</p>

(秘書政策課 次長兼課長)	
司会 (市長政策室長)	只今から傍聴者に入場していただきます。
司会 (市長政策室長)	傍聴者に傍聴上の注意を申し上げます。 先ほどお配りしました「傍聴に当たっての注意事項」をよくお読みいただき、遵守するようお願いいたします。注意事項に反することがあった場合には、退場していただく場合がありますのでご了承願います。 それでは、議題① 第3期上尾市教育振興基本計画について、説明をお願いします。
教委事務局 (教育総務部次 長、学校教育部 長)	<別添資料のとおり>
司会 (市長政策室長)	ひと通り説明がありました。これにつきまして、意見交換をしたいと思います。はじめに資料2ページ目の「学力向上」についてです。
副市長	学力向上についてですが、学力調査結果を見ると、全国標準値を超えている。最近は学習塾が過熱気味ではある気がしている。
市長	平成29年の小学校の学力調査結果が50まで下がった理由等はあるのだろうか。
教委事務局 (学校教育部長)	グラフのマジックと言いますか、このグラフの表記方法では大きく下がったように見えてしまいます。算数に課題があると認識しています。
細野教育長職務 代理者	国や県、市の学力調査を実施し、PDCAサイクルを回している。すぐに解決できるものではないが、各々の学力調査結果を見て、対応している。また、PDCAサイクルを回していることの結果だけでなく、少数指導の効果が表れているのではないか。
中野委員	本市の場合、PDCAサイクルを回すことを2回行っていることが成果に繋がっているのだと思う。個に応じた指導。全体よりも一人一人の学力分析を行っている。今後も一人一人に対応していく。
副市長	学習塾にこだわった理由として、高校の無償化により、進学が進んでいる現状があり、学校での授業だけではならず、学習塾に通わなければならないという状況もあるのかなど。昔とは変わっており、深い問題がある。

司会 (市長政策室長)	続いて、資料3ページ目の「いじめ根絶」についてです。この問題については総合教育会議で何度も扱っておりますが、これにつきまして、意見交換をしたいと思います。
副市長	昨日、リスクマネジメントの研修を受けた。学校の先生が速やかに情報を共有し、学校全体で対応して行く必要がある。
大塚委員	毎月70件以上の認知件数があり、解決には3か月はかかってしまう。
副市長	先日、いじめの重大事案の起案があったが、先生方が何度も話し合いの場を設定し解決に向けて対応いただいていることはよくわかった。
中野委員	昔に比べると、組織的に対応するようになってきている。今は、積極的に認知しているが、最も良いのはいじめをなくすことであると、改めて感じた。
細野教育長職務代理	積極的に認知を進めているが、小さい芽のうちに、問題が大きくなる前に、大きくなってしまえば解決にも時間がかかってしまう。小さなものから、どんどん報告をすることが大切です。
小池委員	積極的に早期に対応することは大切。しかし、学校内だけでなく、先生が見ていない登下校時にもいじめが起こっているという状況もある。これには地域の方々の協力が必要になってくるので、コミュニティ・スクールの運用も重要になってくる。
内田委員	いじめに気が付けば認知できるが、SNSでのいじめも増えてきている。
中野委員	中学校が多いものと思っていたが、小学校低学年のいじめが多い。
内田委員	低学年にいじめの認知が多い。これは、小さい子は親に何でも話すことから認知が多いものと思われる。
副市長	些細とは言えないが、だんだん学年が上がると認知件数は減少するが、質が悪くなっている。個人的な意見だが、様々な経験が成長の糧になっている面もあり、常に無菌室のような状態では成長しないのではないかとも思う。心に響くような反省が必要になる。
教育長	確かに低学年が多い。そもそも認知とは、保護者に連絡を取ったものであり、小学校5年生から中学校までの男子については、ホルモンの状態が大きく変化する段階である。 先ほどの通塾率については、調査しており、中学3年生に向けて増

	<p>えている状況です。</p> <p>また、中学校は教科担任制で、今後は小学校にも広げていく。</p>
司会 (市長政策室長)	<p>他に無いようでしたら、時間の都合で申し訳ありませんが、資料4ページ目の「体力向上」について意見交換をしたいと思います。</p> <p>いじめの問題は今後も引き続き総合教育会議で議題とさせていただきます。</p>
市長	<p>資料のグラフを見る限り、中学校もだんだんと下がってきている。</p>
教委事務局 (学校教育部長)	<p>生活スタイルの変化や、部活動の変化による影響もあると思われます。年中部活動とはいかなくなっている。</p>
内田委員	<p>なかなか理由が無ければ、運動をしない子が増えてきている状況。</p>
市長	<p>運動をする子とそうでない子の二極化というのは、中学校でも当てはまるのか。</p>
教委事務局 (学校教育部長)	<p>やはりゲームとかが増えている。</p>
大塚委員	<p>上尾市はスポーツ都市宣言をしている。中学校になると、スポーツへの関心に差がある。加えて、このコロナ禍で難しくなっている。</p>
市長	<p>そのとおり。運動する機会が少なくなってしまった。</p>
副市長	<p>子どもの成長過程であり、持久走などで体が作られてきた。この歳になると、体力があることで頭もすっきりする。市長は空手をやっておられるが、興味を持てるスポーツがあると良い。</p>
市長	<p>勉強も体育も、どちらも必要。空手も一生懸命やった。</p>
細野教育長職務 代理者	<p>ここにも経済格差の問題が影響している部分もある。また、昔は暗くなるまで外で遊んでいたが、スポーツの楽しさを教えることが大切である。資料にある総合評価も大切ですが、数値に現れないスポーツの楽しさを教えたい。</p>
司会 (市長政策室長)	<p>他に無いようでしたら、時間の都合で申し訳ありません、続いて「不登校対策」については省略させていただき、資料6ページ目の「コミュニティ・スクール」について意見交換をしたいと思います。</p>
市長	<p>全校で実施して2年目だが、様々な意味で学校のプラスになっている。今後もより効果が出るようにしてもらいたい。</p>
細野教育長職務	<p>まだ生まれたばかりという印象で、非常に良い取り組み。子ども達</p>

代理者	を地域で育てることは大切で、コミュニティ・スクールの在り方を考える「熟議」が重要だが、地域にまでは浸透していない。しかし、上尾には「おやじの会」もあり、少しずつ進めていくしかないと考えています。
司会 (市長政策室長)	これまでの項目以外に何かご意見等ある方はいらっしゃいますか。
司会 (市長政策室長)	他に無いようですので、議題② 幼児教育について、説明をお願いします。
教委事務局 (学校教育部長)	<別添資料のとおり>
司会 (市長政策室長)	ひと通り説明がありました。これにつきまして、意見交換をしたいと思います。
中野委員	15年前、教育委員会で幼保小の連携として、小学校にスムーズに進学できるよう、平方を核として全幼稚園、保育所を含めて協議をした経緯があり、上尾の幼児教育は深く進められている。ここにきて課題を認識し、接続プログラムを実施している。また、小学校ではスタートプログラムを行っているところです。上尾市としての課題が何なのか明らかにする必要がある。
副市長	「三つ子の魂百まで」ではないが、親へのアプローチがされていない。親に対する教育というものも必要なのではないか。育児に孤立されてしまっている方々もいる。
教委事務局 (学校教育部長)	第3期上尾市教育振興基本計画(案)の67ページにて、家庭教育の充実について記載をさせていただいたところです。
中野委員	副市長と同感です。やはり家庭教育が大切だと思う。私の知り合いは、「私は働きたくない」と言っており、これというのも、子ども達と一緒に過ごしたり、料理をしたいからだと。
市長	子どもがおつかいに行く番組ではないが、帰ってきて抱きしめてあげて、褒めて、教えていく。これが大事なのではないか。人と人の関係だから、画一的ではないが、子は幼稚園に行き、親は働いて、どう抱きしめるのだろうか。
副市長	自己肯定感は家庭で育つもので、人としての生き方、愛情を体験していく。
市長	様々な意見があるとは思いますが、市としても一緒に取組んでいきたいと考えている。

<p>事務局 (秘書政策課 次長兼課長)</p>	<p>冒頭、教育総務部からの説明にありましたが、教育振興基本計画には基本的な方向性や目標を定めてあり、本市においてはこの計画をもって大綱とさせていただきます。</p>
<p>司会 (市長政策室長)</p>	<p>ありがとうございました。最後に、その他として次回の会議について事務局からお願いします。</p>
<p>事務局 (秘書政策課 次長兼課長)</p>	<p>本日は今年度最後の開催ということで、関係各位にはご協力賜り感謝申し上げます。至らない点多々あったかと思いますが、今後はより円滑に開催できるよう準備を進めてまいります。</p> <p>次回の会議の予定につきましては、来年度となりますが、定例教育委員会に併せて開催したいと考えております。また、時期が近くなりましたら、ご連絡申し上げたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>司会 (市長政策室長)</p>	<p>他に無いようでございますので、これで議事はすべて終了いたしました。</p> <p>皆様のご協力ありがとうございました。それでは、会議の閉会にあたり、教育委員会を代表いたしまして、池野教育長からご挨拶をいただきたいと存じます。</p>
<p>教育長</p>	<p>ありがとうございました。第3期上尾市教育振興基本計画には、幼児教育について初めて記載したところであり、今後も幼稚園、保育所を主体とした学校との連携を、しっかりと進める必要があります。慶応大学の教育経済学の先生は、幼児教育が最優先であるとお話されていた。</p> <p>今年度は3回に渡りありがとうございました。</p>
<p>司会 (市長政策室長)</p>	<p>ありがとうございます。皆様、お疲れ様でした。以上で令和2年度第3回上尾市総合教育会議を閉会いたします。</p>